

重点 14 学習環境の改善

2 耐震補強の状況

ねらい

地震時における幼児・児童・生徒の安全を確保するとともに、地域の防災拠点としての機能向上を図るために校舎・体育館等の耐震性能を向上させます。

現状と課題

- 昭和56年新耐震基準以前に建設された校舎及び体育館については、耐震診断調査の結果、補強が必要なものについて、平成12年度から耐震補強工事を年次的に施工し、小・中学校においては、校舎（平屋建て等の小規模施設を除く）及び体育館（武道場を除く）の耐震補強工事を完了しています。
- 幼稚園園舎等、平屋建て等の小規模施設については、平成19年度に耐震診断調査を行いました。その結果を受け、耐震化を要する施設について平成21年度から耐震化に取り組んでいます。残る施設の耐震化を順次進めていく必要があります。

本市の耐震化状況(平成22年3月31日現在、文部科学省実施調査結果)

区 分		全校数	全棟数 A	S57以後 建築棟数 B	S56以前 建築棟数	補強不要 棟数 C	補強済 棟数 D	補強 必要 棟数	診断 未実施 棟数	耐震化率 B+C+D/A
小学校	校舎	40	176	73	103	34	68	0	1	99.4%
	体育館		40	14	26	9	17	0	0	100.0%
計		40	216	87	129	43	85	0	1	99.5%
中学校	校舎	22	90	40	50	14	36	0	0	100.0%
	体育館		39	23	16	4	11	1	0	97.4%
計		22	129	63	66	18	47	1	0	99.2%
小・中合計	校舎	62	266	113	153	48	104	0	1	99.6%
	体育館		79	37	42	13	28	1	0	98.7%
	合計	62	345	150	195	61	132	1	1	99.4%
三重県平均(小・中)										89.0%
全国平均(小・中)										67.0%
幼稚園	園舎	24	23	8	15	7	3	5	0	78.3%
三重県平均(幼)										65.6%
全国平均(幼)										60.1%

※中学校体育館は武道場も含む

今後の方向性

- 耐震化を要する平屋建て等の小規模施設等について、平成21年度に補強の設計を行った幼稚園平屋建て園舎3園5棟を早期に工事着手するとともに、残る施設についても順次補強を進めていきます。